

支援プログラム

事業所名		発達支援センター巣立ち
作成年月日		2024年4月1日
事業所理念		親も子も、安心して生き生きと暮らせるよう、適正な発達支援を提供する。
支援方針		心身の発達の遅れを持つ児童に対して、日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応能力を養い、健やかな成長を目指す。
営業時間		8:30~17:15（サービス提供時間 9:00~17:00）
送迎実施の有無		なし
支援内容		
本 人 支 援	健康・生活	主に、健康的な生活を送ることを目的とし、日々の療育の中で、心と身体の健康の維持・増進に努める。そのために、子どもの健康状態をチェックし、基本的な生活スキルの向上を目指す。具体的な支援として、集団療育や個別療育等、各種活動を通して。
	運動・感覚	身体の運動機能やバランス感覚を育てることによって、日常生活の拡充を図ることを目的とした支援を行う。具体的な支援として、親子のふれあい遊びや体操、サーキット、音楽療法、水泳療育、機能訓練、個別療育等を通して。
	認知・行動	対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を目指し、いろいろな支援方法を組み合わせて行う。具体的な支援として、集団療育や個別療育等(運動、製作、音楽、絵本の読み聞かせ等)を通して、概念の形成や行動につなげる。
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上を図り、活動を通して様々な状況に対応できる力を身につけるよう支援する。 集団療育、個別療育等、すべての療育活動を通して、言葉だけでなく、身振り、指差し、写真、絵カード、提示カードなど一人一人の子どもに合った方法で支援する。
	人間関係 社会性	活動を通して、社会性の発達を促し、仲間づくりと集団への参加を目指して支援を行う。 集団療育、個別療育等、すべての療育活動を通して楽しんで参加ができる支援をする。(ルールが分かる、気持ちのコントロールができる)

家族支援	保護者からの子育てに関する悩み、巣立ちでの活動の様子などについての情報交換と、それを踏まえての助言や相談を行う。例－個別支援計画、モニタリング時での話し合い、吉松先生の療育相談、相談支援事業所との連携、ペアレントメンターとおしゃべり会、療育活動後の話し合い等。
移行支援の内容	ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備としての支援を行う。出生、就園、就学など、継続した支援ができるように、保護者の了解のもと、移行先に情報提供し、共有する。
地域支援・ 地域連携の内容	将来的に子どもたちが地域で生活するうえで、より生きやすい社会をつくることを目標とした包括的な支援を行う。そのために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行う。
職員の質の向上に 資する取り組み	必要に応じて、外部研修に参加したり、リモートを活用した所内研修を実施したりすることで職員の資質の向上に努める。例-愛大吉松先生による研修、ここはうす桑原先生によるオンライン研修、保護者アンケートや職員の自己評価の実施、虐待防止研修等。
主な行事等	季節に合わせた活動を積極的に取り入れる。例として、節分、こどもの日、クリスマス、誕生会、音楽療法、避難訓練等。